

## ◆ 編集後記 ◆

5月。いい季節となりました。新しく社会に一步踏み出した諸君も、少し緊張が緩む頃ではないでしょうか。希望に燃えてあるいは淡淡とそれぞれの職場に勤務して2カ月。いろいろな感想があることと思います。老婆心を承知で一言。あまり甘く見ず。かと言って萎縮せず。旧人類を反面教師として新たな展開を。

今月号には、3編の報文、技術資料、Q&Aおよび内外事情に加えて、恒例により開発土木研究所の平成2年度調査・試験・研究実施計画概要を載せました。実施計画概要は実に多様な内容となっております。研究所に衣替えして3年目。真価が問われる年度となりそうです。

ところで、北海道開発局は来年開局40周年を迎えます。また、開発土木研究所は北海道庁時代も含めて半世紀以上の歴史があります。北海道開発局が、これまで北海道の開発に極めて重要な役割を果たしてきたことは言うまでもありません。しかしながら、どのような組織もある一定のシステムが確立すると、ルーチンワークからはみ出すことに拒絶反応を起す人が多くなります。また、時代の変化に鈍感になりがちです。そもそも、我々の歴史はシステムの構築と変革の繰り返しと言えます。北海道開発局がどの時期にあるかは言わずもがなです。このような意味で、今、我々は何をなすべきなのでしょう？

(堺，武田)

## 編集幹事会

幹事長	森 康夫		
幹事	石渡輝夫	堺 孝司	八木 憲一
	川村和幸	武田 勲	谷野賢二
	許士達広	根岸正充	山口登美男

開発土木研究所月報  
No.444 1990年5月  
平成2年5月20日 発行

発行所 北海道開発局開発土木研究所

062 札幌市豊平区平岸1条3丁目  
TEL 841-1111(代表)  
FAX 824-1226

印刷所 道央印刷産業株式会社

札幌市中央区南6条西20丁目  
電話 563-7412代